

TRY・アングル



コミュニティスクール推進員・能島祐子

地域と学校をつなぐために

～コミュニティスクール連絡会～

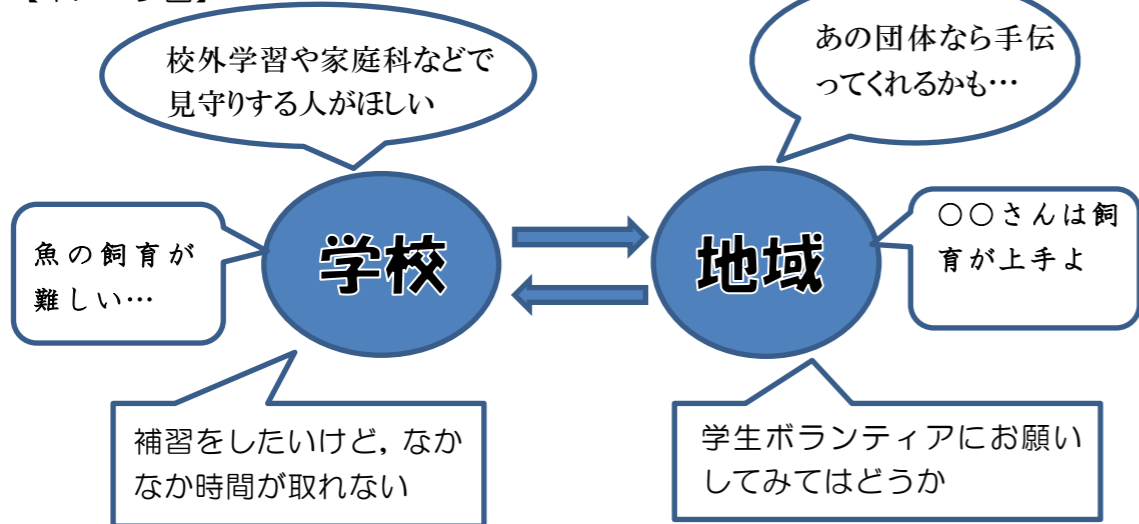
本校では、月に1～2回、定期的にコミュニティスクール連絡会を行っています。これは地域と学校の情報を共有し、学校の「困った」「手伝ってほしい」を解決するための会議です。



この会議は、校長・教頭・コミュニティスクール推進員・地域学校協働活動推進員、オブザーバーとして安芸津町地域おこし協力隊員の5名で行っています。

内容は、前回の連絡会からこれまでのコミュニティスクールの活動報告、今後2週間の取組予定の協議が中心です。活動を通して感じた課題を、地域に精通している地域学校協働活動推進員が、地域から適任者を探したり、紹介したりすることで解決するという流れです。

【イメージ図】



学校が抱える課題を地域と共有しあい、どのような活動をしていくかを熟慮・議論することで、一方的な活動になることを防いでいます。

これまでの取組をご紹介します

○防災授業 5年生

…自主防災風早 事務局長 曾我 光幸 様

7月20日、曾我様による防災の授業が行われました。2年前の豪雨災害の被災写真をもとに、校区内がどのような被害にあったかを確認し、災害時に取るべき行動について考えました。



○教えて！あさがお先生 1年生

…“あさがお先生” 佐伯 勝也 様

7月22日、あさがお先生に再び来校していただき、朝顔や魔法の苗の育て方について質問しました。たくさんの質問に、一つ一つ丁寧に答えてくださり、子供たちは真剣に耳を傾けていました。



○町探検 2年生……浄福寺 様

7月22日、町探検で浄福寺へ行ってきました。住職のお話から昔から地域の人々に愛された場所だということがわかり、たくさんの質問が飛び交いました。座禅体験では、肩を叩かれると頭が良くなるという話を聞いて、何度もお願いする児童がいました。



○地域を知ろう～風早の特産物～ 3年生……びわ組合 山中 昭治 様、中村 様、山本 様

7月27日、山中様をはじめ、びわ組合の方々にお越しいただき、びわについて学習する中で出てきた質問をお聞きしました。

名前の由来や風早で栄えた歴史、生産量などびわ農家ならではのお話を、たくさんお聞きすることができました。今後、子供たちは年々生産量が減少していることを知って、自分たちにどんなことができるか考えていくようです。

